

「協同組合の運動は教育から始まり、教育に終わる」「教育なくして運動なし」と言われています。組合員教育とは、協同組合の目的と理念をしっかりと身につけ、それを実行する力をつけてもらうことです。

また、組合員が協同組合運動についての理解・認識を深め、組合員としての意識水準を高める活動に取り組み、「協同組合人」になってもらいたいと考えています。

本物の組合員づくりの活動が組合員教育であると考え、重要な事業のひとつとして取り組んでいます。

■組合員教育特別積立金の開始

1982年(昭和57年)に組合員一人当たり50,000円、全組合員(正・准組合員)を7,000人と想定し、3億5,000万円を目標に積立を開始しました。(初年度2,000万円)

■現在

組合員教育事業実施以来、講座修了者は2,604名を超えました。

修了者を中心に組合員の「我がJA」への帰属意識の高揚に役立つとともに、地域におけるJAの存在意義を明確にするのに大きな役割を果たしています。

■実施内容(2019年度カリキュラムより)

	組合員基礎講座(37人)	組合員講座(41人)	専修講座(40人)
開講式(5月)	2019年度講座内容説明 JAはだの組合員教育事業について アクティブメンバーシップの確立と協同組合運動者としての人づくり		
第1回(6月)	「協同組合とJAについて」 JA神奈川県中央会 教育部	「JAはだのめざすもの 3つの共生と報徳の精神とともに」 JAはだの 代表理事組合長 山口政雄	「かながわの都市農業の推進」 神奈川県環境農政局
第2回(7月)	【視察研修】 「二宮尊徳に学ぶ報徳の精神」 尊徳記念館	「おいしさ日本一、 秦野名水の秘密を探る」 秦野市環境共生課	「おいしく食べていきいきライフ!」 JA神奈川県厚生連保健福祉センター
第3回(8月)	「秦野の農業について・ はだの都市農業支援センターの 取り組みについて」 JAはだの営農部 はだの都市農業支援センター	「食料自給率の動向・農地の現状・ 農業振興の方向・里山保全について」 JAはだの専務理事 宮永 均	「災害対策～備えあれば憂いなし～」 秦野市防災課 防災アドバイザー
第4回(9月)	「秦野の特産物を取獲してみよう! 落花生の掘り取り体験で 農業の魅力に迫る」 大倉掘り取り観光組合	「生産緑地法改正と 都市農業のあり方について」 JA神奈川県中央会 農政地域対策部	【視察研修】 「家の光」の編集作業を見学しよう 家の光協会、農業・農村ギャラリー・ノーレ ポリスミュージアム
第5回(10月)	【視察研修】 「地産地消の大切さがよく分かる 輸入農産物保管の現状と課題」 横浜港湾労組	【視察研修】 「農地の有効利用と 地域のごみ事情を学ぶ」 名水湧く湧く農園、はだのクリーンセンター	STOP! 消費者トラブル 消費生活センター
第6回(11月/12月)	「ふるさとを知り・ふるさとを愛し・ ふるさとを育てる「大山と盆地の暮らし」」 郷土研究家 武勝美氏	「高齢者福祉サービスについて」 秦野市高齢介護課	「遺言・相続ステップアップ講座」 JA神奈川県信連 財務コンサルタント
第7回(12月)	「はじめての相続対策」 JA神奈川県信連相続遺言・信託センター		
文化講演会	第27回文化講演会 2019年8月10日(土)秦野市文化会館 大ホール 映画「二宮宮次郎」上映会		
公開講座(1月下旬)	講演「協同組合としてのJAの発展を目指して」 一般社団法人 日本協同組合連携機構 主任研究員 西井 賢悟氏		
閉講式	修了証書・皆勤賞授与 講座修了者 体験発表		
国内視察研修	組合員講座修了予定者を対象に視察研修を開催 栃木県桜町陣屋跡、JAはが野友遊直売所		

※専修講座は、組合員講座修了者を対象とし、受講期間は2年です。



■基礎講座落花生の掘り取り



■国内視察研修会



■専修講座



■協同組合講座閉講式

昭和22年(1947年)農業協同組合法の制定により、日本全国に農業協同組合が設立され今日に至っています。この間、農業基本法や農業協同組合併助成法等が制定され、大規模農協へと生まれ変わっています。組合員をとりまく環境も時代の流れとともに変貌し、地域での共同・共存や精神的・物質的・経済的助け合いの精神も変化しています。特に20世紀末にかけて情報化が進むにつれ、金融・経済分野のグローバル化が進行しました。この結果、競争原理に支配された過度の貨幣中心の資本主義の社会が出現してしまいました。

一方、経済の発展に伴い人口問題・地球環境問題・資源エネルギー問題など多くの面で閉塞感の強まる中、新時代を創造していくものは協同組合運動の理念と実践であると強く確信しております。

そこで、JAはだのでは協同組合の原点に立ちかえり今の協同組合運動を再考したいと考え、この安居院庄七を取り上げました。

私たちは、力の弱い一人ひとりが相互扶助・共存共栄の精神で力を合わせるにより、ともに発展し豊かな住みよい社会づくりを目指す協同組合運動を実践してきました。協同組合に関わる一人ひとりの個人の意識を高めることにより、私たちの壮大な理想をともに実現しましょう。

あぐい しょうしち
安居院 庄七



■1789～1863年
二宮尊徳の教えを広め、その思想に基づく報徳運動の契機をつかった秦野出身の人物

「乱杭の長し短し人ころろ
七に三たし五に五たすの十」

これは安居院庄七が、世の中を指導するにあたって、一番基本的な考え方です。乱杭というのは、川辺に杭を立てて、引っかかるゴミなどを調節し、水の力を防ぐそうです。

その杭は長いのがあって、川の水の流れをうまく止めるといいますが、水勢を和らげるといふ働きもします。人間の心も同じように十全が一番いいわけですが、七つの心の人もあるでしょうし、三つの心の人もあります。双方が話し合って、助け合い、十のものにしなければならぬのだという考え方です。

人の考え方や知識はいろいろありますが、お互いが助け合って、足りない部分を補い、万全なものにしなければならぬということです。

これを毎日の生活指導において一番重要視して、その気持ちで協力し、相互助け合い、世の中を起こしていこうと歌にし、常に人にも説いていたようです。



■JAはだの本所敷地内の歌碑

「はだのじばさんず」は、地元で採れた新鮮な農産物を地元で消費する「地産地消」に取り組む「生産者の顔が見える」農産物直売所です。



丹沢の山並みと特産の落花生をイメージし秦野の農業の夢(芽)が育ち実を結ぶようロゴマークに願いを込めました。

「はだのじばさんず」は地場産が100%の意味を込めて選定しました。



■取り組みの経過

2000年	3月	JAはだの経済事業改革の一環として、地産地消への取り組みの検討開始
2002年	2月	ファーマーズマーケット建設について理事会で承認
	8月	補助金交付決定 総事業費 1億8,500万円 補助金額 6,600万円
	11月	建物完成 23日(土)11:00オープン 音声案内システムスタート
	12月	生産者への電話による売上情報を提供
2003年	5月	Web情報検索システムスタート 生産者へのインターネットによる売上情報を提供
2009年	1月	売り場面積を拡張
2020年	5月	内装をリニューアル

■規模

敷地面積/3,462㎡ 延床面積/767㎡
売場面積/617㎡ 駐車台数/250台
出荷登録者/978名
営業時間/9:00～18:00
休業日/7・8月を除く毎月第2火曜日、1/1～1/3

■所在地

〒257-0015 秦野市平沢477
TEL(0463)81-7707 FAX(0463) 84-1030

JAセレモニーホールはだのは、施設葬のための最新設備を備えた斎場施設です。地域に密着したJAとして、相談から式運営まで信頼される事業運営を行っています。

■葬祭事業の取り組みの経過

1963年	秦野市農協設立 支所単位に葬具の貸出
1975年	くみあいストア跡地に葬祭センターを設置 葬祭センター運営委員会を中心に 葬祭の簡素化を目的に事業を開始
1994年	農協運営の斎場施設に組合員の要望が強まり、 こうした要望を受け候補地の選定に入る
1997年	平沢に候補地が定まり運営検討を進め、 9月に斎場運営を理事会で決定
1998年	4月施設工事着工 10月施設完成 11月9日オープン



■規模

敷地面積/1,975㎡ 専用駐車場/94台
斎場面積/1,064㎡ 2葬儀施行対応
年中無休・24時間受付

■所在地

〒257-0015 秦野市平沢231-4
TEL(0463)83-2727 FAX(0463)83-2333 ☎0120-347-474